

# 「きれいな心」

～そとがわではなくうちがわを！！～

I サムエル 16:1 ~ 13

目に見えることだけが全てではありません。私たちはいつも目の前に見えることだけを考えてしまいますが、本当は私たちの心の中には見える目があります。

昔、サウルという王様がいました。人々は神様を信じていましたし、神様の言葉を聞いていました。しかし、人々の心の中には自己中心という悪い虫がいました。私たちの心には誰かに言いつけて判断してもらいたいという心があります。そして悪いことをしてしまった時、ごめんなさいと言えない汚い心が住んでいます。このサウルの時代もそうでした。神様は王様を立てるつもりはありませんでしたが、人々はケンカし皆「自分は悪くない！」と言い、判決してくれる目に見えるリーダーを欲しがり大騒ぎしました。人間が選んだ人を王様にして、その人が決めたことは正しいでしょうか。正しくなかったのです。サウルは神様がしてはいけないと言った事を沢山しました。そしてサウルは悪いことをして失敗してしまった時、神様に謝ることが出来ない上に酷い言葉を神様に言いました。神様はサウルを王様から降ろし、別の人を立てることにしました。新しい王様を選ぶため、神様の使いであるサムエルは、子どもが沢山いるエッサイという男のところへ行きました。立派な体の長男を見た時、サムエルはこの人かと思いましたが、神様はサムエルに言いました。「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」(Iサムエル 16:7) そして次々に兄弟が出てきましたが、神様は全て違うと言われました。サムエルが子どもたちはこれで全部かと父親のエッサイに尋ねると、数にも数えられていなかった羊の番をしていたダビデが出てきました。ダビデは8人兄弟でした。7人の兄がいてダビデは一番末っ子でした。ダビデは父親から見て、いるのかいないのかも分からない扱いをされていましたが、ダビデは「血色の良い顔で、目が美しかった」(Iサムエル 16:12)と書いてあります。あなたの目はきれいですか。私たちの心には目が濁る要素があります。嘘をついたり、人に意地悪をしたりという目も目が汚くなる要素です。けれど一番は私たちの心に住んでいる「自分なんて…」という気持ちです。自分に自信がなくなってくると、その心を隠すために人と比較し「あの人よりはマシ」と自分より弱い人を探すようになります。ダビデも兄弟からは必要とされていませんでしたが、羊からは必要とされていました。そのため、ダビデは心が濁ったりせず美しい目だったのです。

## ①人をうわべで見てない？

綺麗な心を持った人が大切にしないといけないのは、人をうわべで見ないことです。神様は一人一人に素晴らしい力を与えています。子どもたちを毎日「あなたはすごいね」と褒めてあげてください。言ってはならないのは「あんたはダメだ、バカだ」というような言葉です。人は

うわべを見ますが神様は心を見ています。ですから子どもたちの「心」を見てあげてください。

## ②じぶんのところを見る！！

自分の心をしっかり見てください。あなたの心は綺麗ですか。今神様があなたを選んでくれるのでしょうか。「そんな風に言っていないのにあの人が私がそう言ったって言う」ということが起こります。何故このような誤解が生じるのでしょうか。それはあなたの顔から言葉が出ているのではなく、人の顔で聞いているのです。ですからいつも笑顔でいてください。大人は子どもに「あれがダメ、これがダメ」と言わず、子どもがいつも笑っていられるようにしてあげてください。大事なのは彼らが失敗し挫折した時、慰めるのが大人の仕事です。失敗する前に関わると自分の心を見れなくなり、立ち直ることを学べなくなってしまう。私たちが失敗するのは、自分の心を見つめるためであり、失敗をする時に自分を見返すことが出来るのです。大人になってだと心が硬くなって傷つきやすくなかなか治りません。ですから子どものうちにしっかり挫折することが必要なのです。

## ③イエス様の方法で生きる！！ W.W.J.D

～良いたねまき～

私たちにはやさしい心と自己中心な心と二つ住んでいます。あなたはそのどちらを選びますか。人をいじめたい人なんていないのです。周りで困っている人がいたら助けてあげてください。あなたの心に住んでいるやさしいところを探してください。聖書の中にこんな言葉があります。「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。」(ガラテヤ 6:7~9)

種を蒔けば必ず刈り取ります。あなたが蒔いているのは良い種ですか、悪い種ですか。畑に良い種をと悪い種が蒔かれたらダメなのです。自分の心にどんなやつが住んでいるか見てください。それに気づいたら私たちは強くなれます。自分がダメだと思ふ虫、人を見下す虫、自分だけが良くなればいいと思ふ虫、自分の心をきちんと見つめ、自分の中に悪い虫が出てきたら「ごめんなさい」が言える様になりましょう。そうすれば、神様が悪い種を取ってくれるのです。そして、神様は大人になった私たちにもう一度素直になれる心を与えてくださいます。良い種を蒔いていきましょう。

(要約者:西崎 芳栄)

(5月1日)